

2023年3月

簡易食事調査票 CAND (Calorie and Nutrition Diary) を用いた糖分摂取量の研究結果が第22回国際栄養学会で発表されました

株式会社オルトメディコ（東京都文京区、代表取締役 社長 山本和雄）が開発した簡易食事調査票 CANDを用いて、長岡香料株式会社（大阪府大阪市、代表取締役 社長 林収一）が行った間食習慣がある日本人成人の糖類摂取量に関する研究結果が第22回国際栄養学会でポスター発表されました。



CAND<sup>®</sup>  
Calorie And Nutrition Diary

Produced by  ORTHO MEDICO



長岡香料株式会社  
NAGAOKA CO., LTD.

#### 【学会情報】

- 名称: 第22回国際栄養学会 (22nd IUNS-ICN International Congress of Nutrition in Tokyo, Japan)
- 会期: 2022年12月6日(金)~11日(日)
- 会場: 東京国際フォーラム
- 演題名: 「Intake of sugar including fructose recorded using a dietary questionnaire in Japanese adults」
- 著者: Keiichiro Sugimoto<sup>1</sup>、Yuta Takahashi<sup>2</sup>、Saori Murakami<sup>2</sup>、Toshihiro Kakinuma<sup>2</sup>、Toshikazu Yamanouchi<sup>3</sup> (1.Nagaoka Co., Ltd. (Japan)、2.ORTHOMEDICO Inc. (Japan)、3.Kashiwa-Tanaka Hospital (Japan))

#### 【研究の概要】

糖質（ショ糖、果糖、ブドウ糖）の過剰摂取は、内臓脂肪蓄積やメタボリックシンドロームの原因の一つと考えられています。日本では、日本食品標準成分表2015年版（七訂）に炭水化物成分表編が追加出版されるまで、糖類の摂取量を調査することは困難でした。簡易食事調査票CANDは、食事の記録に不慣れな人でも簡単に回答できる食事調査票です。本研究では簡易食事調査票CANDを用いて、間食の習慣があり、軽度の肥満（BMIが23以上30未満）を有する日本人成人の糖質摂取量を明らかにすることを目的に、植物抽出物の抗肥満効果を評価するための臨床研究（UMIN000042469）の各検査（スクリーニング、摂取4週間後、摂取8週間後、摂取12週間後）前の連続3日間の食物摂取量を調査しました。

適格基準を満たした190人（男性91人、女性99人）を対象とした12日間の調査の結果、糖類の摂取量は男女ともに90 g/日以上でした。これら糖類からのエネルギー摂取量は約14%であり、これはWHOが推奨する値（総エネルギー摂取量の10%未満）を上回ることが確認されました。

